

# 令和5年度 当初予算案

(令和4年度2月補正予算案を含む)

令和5年2月6日

福井県

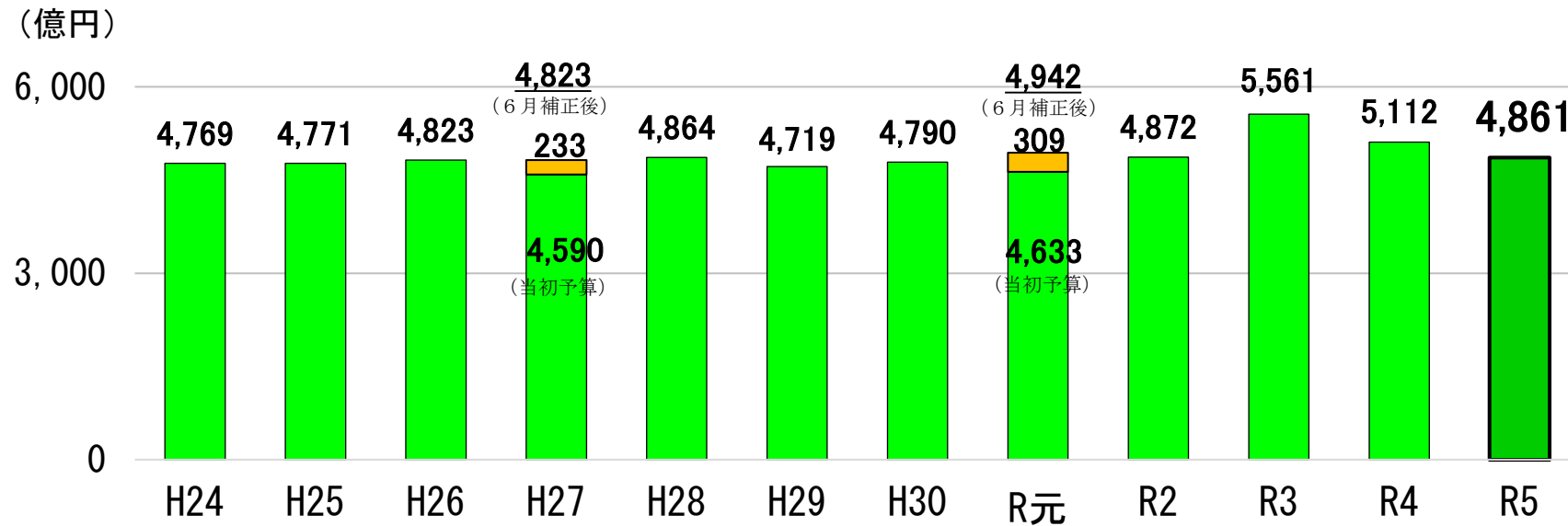
# 令和5年度当初予算案のポイント

- 令和5年度当初予算は「骨格予算」となるが、北陸新幹線開業を万全の態勢で迎える総仕上げの年度であり、開業に向けた準備などについては、当初予算に計上
- 物価高騰対策についても機を逸することなく必要な予算を計上
- 当初予算案の規模 **4,861億円**  
(骨格予算としてH11に次いで過去2番目に大きな規模)
- 当初予算案の構成
  - 1 北陸新幹線福井・敦賀開業対策
  - 2 物価高騰対策
  - 3 長期ビジョンの着実な推進

# 当初予算の規模

会計区分	5年度当初予算案 (億円) ①	4年度当初予算 (億円) ②	増減 (①－②) (億円)	伸び率 (①／②)
<b>一般会計</b>	<b>4,861</b>	5,112	△251	<b>△4.9%</b>
特別会計	735	747	△12	△1.7%
企業会計	449	438	11	2.6%
合 計	6,045	6,297	△252	△4.0%

## 一般会計の当初予算規模の推移



## 県債残高、財政調整基金残高の見込

- 令和4年度末の県債残高（見込）は、5,390億円  
→ 元年6月に作成した財政収支見通し（5,700億円）よりも減少
- 令和4年度末の財政調整基金残高（見込）は、151億円  
→ この4年間、残高を維持（平成30年度末残高 147億円）
- 行財政改革アクションプランの目標を達成できる見込み  
(県債残高 令和5年度末 6,000億円未満、財政調整基金残高 100億円以上)

	令和4年度末（見込）
県債残高	5,390億円
財政調整基金残高	151億円

- 令和5年度当初予算においても、財政調整基金を取り崩すことなく予算編成

# 1 北陸新幹線福井・敦賀開業対策

## 北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウン首都圏プロモーション事業

当初

(1億1,100万円) 【主要事業P48】

- 令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、切れ目なく観光プロモーションを実施し、福井の魅力をPR

(カウントダウンキャンペーン(東京駅および丸の内)や  
出向宣伝(上野駅、大宮駅、高崎駅、長野駅)等を実施)



【北陸新幹線福井・敦賀開業カウントダウンキャンペーン】

## 北陸デスティネーションキャンペーン誘客拡大事業(3,200万円) 【主要事業P48】

当初

- 令和6年秋の北陸DCに向け、旅行会社向けの「全国宣伝販売促進会議」を福井県において開催し、北陸三県とJR各社が魅力を全国にPR

## 並行在来線鉄道施設等整備支援事業 (97億4,800万円) 【主要事業P40】

当初

- ・(株)ハピラインふくいに対し、JRから経営分離される区間の鉄道資産の取得および鉄道運行に必要な設備整備等を支援 (補助率10/10)

## 地域公共交通キャッシュレス化推進事業 (8億5,000万円) 【主要事業P39】

2補

当初

- ・バス事業者に続き、新たに鉄道事業者（福井鉄道・えちぜん鉄道）に対し、「交通系ICカード」の導入を支援

路線バス：令和4～5年度に整備

地域鉄道：令和5～6年度に整備



【交通系ICカードの利用イメージ（路線バス・地域鉄道）】

## 恐竜博物館リニューアルオープン記念事業（1億4,100万円）【主要事業P44】

当初

- 令和5年夏の恐竜博物館リニューアルオープンを県内外にPRし、本県へのさらなる誘客拡大を促進（カウントダウンイベント、オープニングセレモニー、恐竜ライブショーの開催等）



【恐竜ライブショーの様子】

## ふくい桜マラソン開催推進事業（8,900万円）【主要事業P57】

当初

- 第1回ふくい桜マラソンの開催（開催日：2024年3月31日(日) 定員：15,000人）
- ふくい桜マラソンEXPO、おもてなしイベント等の開催



【新九頭竜橋開通イベントの様子】

## 北陸新幹線開業に向けたおもてなし景観対策事業(35億円)【主要事業P46】

2補

- 令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、来県する観光客が新幹線各駅から県内主要観光地に向かう道路や駅周辺の河川等を集中的に整備

(舗装補修、区画線補修、道路除草、河川環境改善、標識整備、交通安全施設)



【舗装・区画線補修対象(例)】



【案内サイン設置(例)】



【標識・標示補修(例)】





## 2 物価高騰対策

### 電気・ガス価格高騰緊急対策事業(11億円)【主要事業P29】

2補

- ・電気・ガス料金の高騰に伴い、大きな影響を受ける事業者の事業継続を支援

支給対象者	県内に本社を有し、下記の要件を全て満たす中小企業者	
対象要件	①高圧電力、特別高圧電力の契約をしている、または工業用のガスの契約をしていること	
	②前決算期における費用に占める電気・ガス料金の割合が5%以上であること	
	③令和5年4月から6月までのいずれか1月の電気・ガス料金が前年同月に比べ増加していること	
支給額	増加額が10万円以上	60万円/件
	増加額が5万円以上10万円未満	30万円/件
	増加額が5万円未満	15万円/件

## 生活困窮者あんしんサポート事業 (4,800万円) 【主要事業P63】

2補

- 生活困窮者に対する相談体制を強化することにより、継続的な支援を実施

(相談窓口の周知、相談者向けに支援物資の配布、相談員のスキルアップ研修、就労訓練場所の開拓)

福井県 生活困窮者自立支援制度

家賃が払えない! 進学したいのにできない! 仕事が見つからない!

生活で困っていることありませんか?

家計のやりくりに困っている! 社会に出るのが怖い!

お悩みやご不安がある方はひとりで抱え込まずにご相談ください。

ご家族や周りの方からのご相談も受け付けます

まずはお困りごとや不安をお聞かせください。解決に向けて一緒に考えましょう。

自立相談支援機関 相談窓口一覧

お住まいの市区	相談窓口	電話番号	所在地
福井市	福井市福祉政策推進協議会相談室 ようせい	0776-20-5580	福井市大寺3丁目10-1 福井市役所内
敦賀市	敦賀市自立促進支援センター	0120-215-5311 0770-22-3736	敦賀市神楽町1丁目3-20
小浜市	小浜市自立促進支援センター	0770-56-5800	小浜市通敷8-3-4 小浜市社会福祉協議会内
大野市	大野市自立相談支援センターふらっと	0120-932-763	大野市天神町3-2-4
勝山市	勝山市困りごと支援センターらいと	0779-88-1177	勝山市郡町1丁目1-50
鯖江市	鯖江市自立促進支援センター	0778-25-3000	鯖江市西山町13-1 鯖江市役所内
あわら市	あわら市社会福祉協議会	0776-73-2253	あわら市市場2丁目31-6
越前市	越前市自立相談支援センター くわいこぞらんと	0778-22-8500	越前市野中1丁目1-2 市民プラザたけふ山内階
越前市	越前市社会福祉協議会相談室	0778-42-5788	越前市野中1丁目13-7 越前市役所内
坂井市	坂井市健康福祉部福祉総合相談室 ここま	0776-66-1112	坂井市坂井町下新庄1-1 坂井市役所内
永平寺町	福井健康福祉センター	0776-36-2857	福井市西木町2丁目8-8
湯涌町	丹南健康福祉センター	0778-51-0034	鯖江市永浜町1丁目2-25
池田町	丹南健康福祉センター-武生福祉保健部	0778-22-4135	鯖江市上津町41-5 福井県福祉会館1階
美浪町	二所健康福祉センター	0770-22-3747	敦賀市開町6-5
若狭町(田三方町) 若狭町(若狭町) 高浜町 若狭町(田上町)	若狭健康福祉センター	0770-52-1300	小浜市田谷町3-10

※ 福井市の生活困窮世帯の子どもの学習支援の相談窓口は、子ども福祉課 0776-20-5412

【チラシ配布 (イメージ)】



【支援物資配布 (イメージ)】

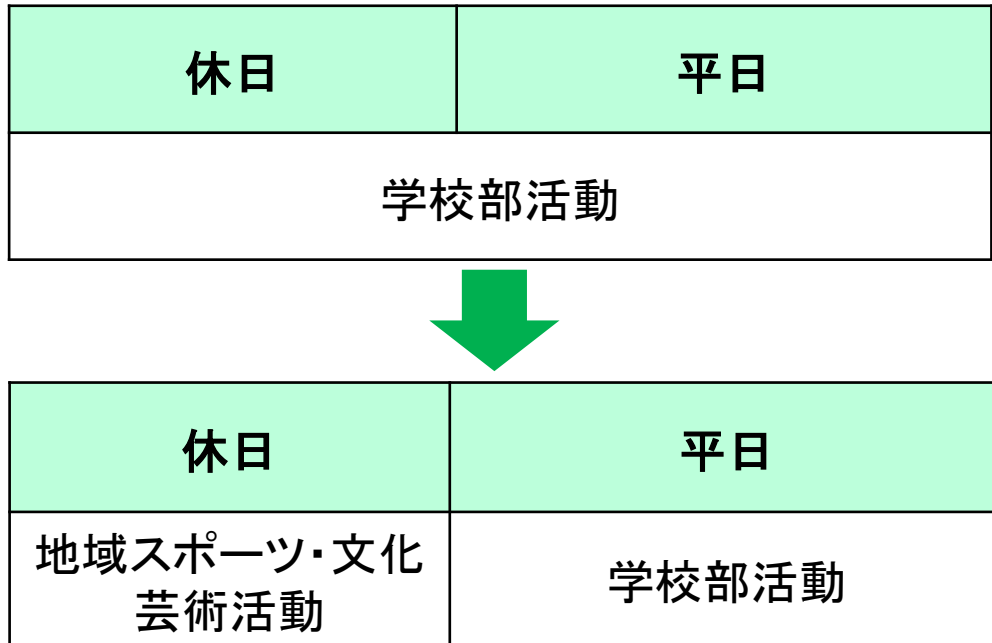
### 3 長期ビジョンの着実な推進

#### 福井を支える人材の育成

#### 地域部活動体制整備事業(4,000万円)【主要事業P2】

当初

- 休日の中学校部活動の段階的な地域移行に向けた取組みを国に先行して実施  
(地域移行に向けたコーディネーター配置、実技指導者配置など)



【地域スポーツに参加する生徒たち（イメージ）】

## 県内産業の支援

# デジタル技術を活用した農林水産物販売・交流拠点事業

2補

(10億8,000万円)【主要事業P20】

- 「農林水産物の販売」「生産者・消費者の交流」「デジタル技術の推進」の拠点となる次世代型の施設整備を支援

(実施主体：JA福井県経済連、補助率：1 / 2、福井市内に整備予定)



【ライブコマースでの配信（イメージ）】



【農林水産物の販売】

※買物アプリを開発し、クーポンを発行



【スマート農業の実演（イメージ）】

## DXの推進

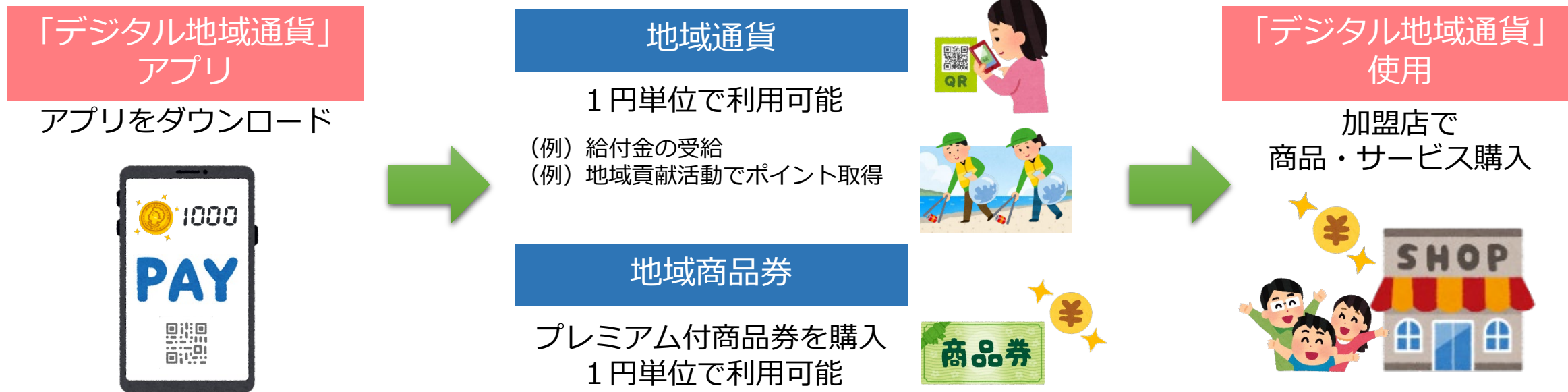
### 「デジタル地域通貨」導入事業 (3億3,100万円) 【主要事業P77】

2補

- ・ 給付金受給等における手続きの簡素化・迅速化や域内経済・地域活動の活性化を促進するため、「デジタル地域通貨」を導入

※具体的な活用方法については、6月補正予算において対応予定

《アプリの主な機能》



## 防災力の向上

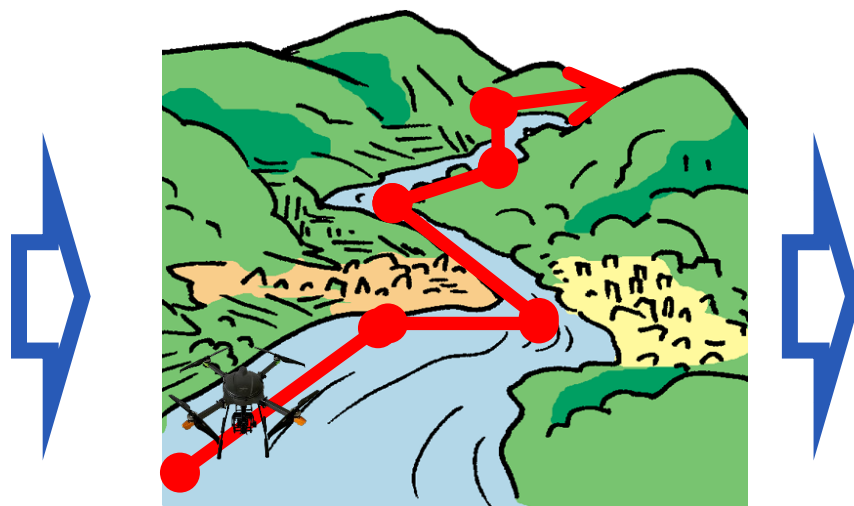
### ふくいの空から県民を守るドローン防災事業(1億9,800万円)【主要事業P70】

2補

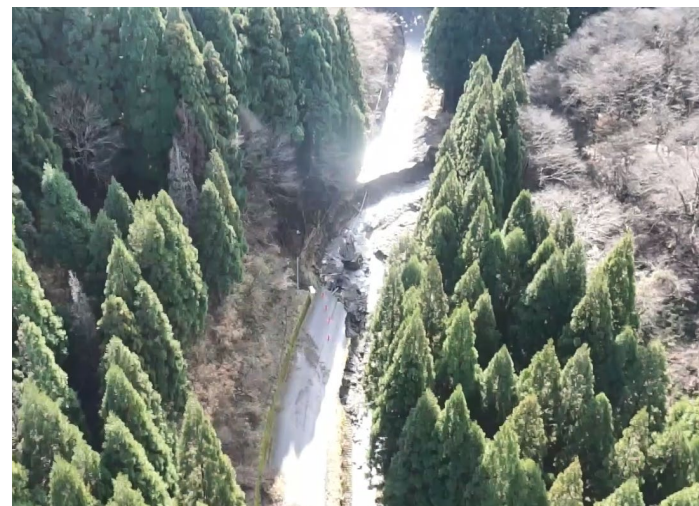
- 災害発生時に、目視外自動飛行機能を備えた災害用ドローンの活用により、被災状況を早期に把握し、県民へ迅速に情報を提供



【災害用ドローンの配備 イメージ】  
目視外自動飛行機能、防水機能有



【飛行ルート事前登録 イメージ】



【南越前町栃ノ木峠 上空】  
目視外自動飛行により確認